

2022年11月12日

会員各位

一般社団法人 福島県作業療法士会
教育部 部長 根田英之

2022年度「生活行為向上マネジメント事例検討会」開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

生活行為向上マネジメント（以下MTDLP）はOTの教育システムの構築を柱に実践促進、学術および職能団体としての対外的な認識向上を目的に活動を展開しています。毎年開催していた本研修会については感染状況を注視し受講者の安全確保等を踏まえ検討した結果、通常の見学型の研修会開催は難しいとの判断に至り、Web研修にて開催することとなりました。ぜひたくさんの方に聴講いただき、発表や事例登録へと繋げていただければと思います。基礎研修を修了していなくても聴講と検討会への参加は可能ですので、積極的な参加をお待ちしています。

敬具

記

1. 日程：2022年12月11日(日) 9:00～（受付8:30～）
2. 場所：オンライン会議 Zoom
3. 内容：MTDLP事例検討会

講師：根田英之（総合南東北病院）、高田善栄（総合南東北病院）他

発表者名（所属）	演題名
佐々木康太（竹田総合病院）	重症肺炎の対象者に対しMTDLPを使用した症例
中川久美子（竹田総合病院）	病棟ADL早期拡大を図り回復期病棟へ繋いだ重度左片麻痺患者の事例（仮）
宮森大夢（竹田総合病院）	未定
岩松駿（竹田総合病院）	MTDLPを用いて復職したケースについて（仮）
橋本昌実（竹田総合病院）	施設退院に向けトイレ動作獲得を目標にMTDLPを導入した事例について（仮）
中島綾子（松村総合病院）	【家族のためにまた料理を作りたい】
仲野裕太（松村総合病院）	MTDLPの使用により目標が明確化された事例
松尾江美佳（松村総合病院）	退院後の目標抽出にMTDLPを活用し、家庭内役割の再獲得に至った事例（仮）
大貫弘人（公立藤田総合病院）	Trousseau症候群を発症し自宅退院を目指した症例（仮）
鈴木早穂（公立藤田総合病院）	早期に自宅退院を希望する患者に対し血糖管理と料理動作の再獲得を目指した事例
東海林あみ（南東北第二病院）	MTDLPを活用しセルフケア自立に向け段階付けで訓練を行った症例（仮）
本間優樹（南東北福島病院）	果樹園の再開を目指しMTDLPを用いて介入したことで意欲の向上が見られた事例（仮）

4. 参加費：無料
5. 申込締切：2022年12月2日（金）
6. 生涯教育制度：今回の事例検討会は、生涯教育基礎コースの2ポイントに該当します。
聴講者は現職者共通研修「9. 事例検討」の対象となります。
7. 申し込み方法：福島県作業療法士会ホームページの教育部主催研修会案内ページより申し込みをお願い致します。

URL：https://fukushima-ot.jp/office/education_department/schedule/



*本研修会受講にあたり、協会番号、協会登録の氏名の確認が必要となります。協会ポータルサイト内の協会番号、氏名が記載されているページのスクリーンショットの添付をお願いします。詳細は別紙「会員ポータルサイトログインの流れ」をご参照下さい。

8. 注意事項

- ・ **日本作業療法士協会、県士会の会員であることを確認させて頂くことがあります。**
- ・ 本研修会は**原則遅刻や早退は認めません。**
遅刻、途中退出した場合は受講履歴が削除されますのでご注意ください。
- ・ 急遽欠席する場合は下記問い合わせ先の担当者までご連絡下さい
- ・ 本研修会は**オンライン会議システム（Zoom）による開催**となります。
受講を希望する場合は以下の点についてご留意ください。
 - 1) 受講環境について
 - ①パソコンでの受講を推奨します。（1人1台）
 - ②通信状態が安定した環境を確保して下さい（有線環境を推奨）。通信環境のトラブルは自己責任となります。
 - 2) 事前に Zoom アプリをインストールし、**複数回施行するなど**してスムーズに受講できるようご準備ください。
- ・ 尚、詳細については後日連絡致します。

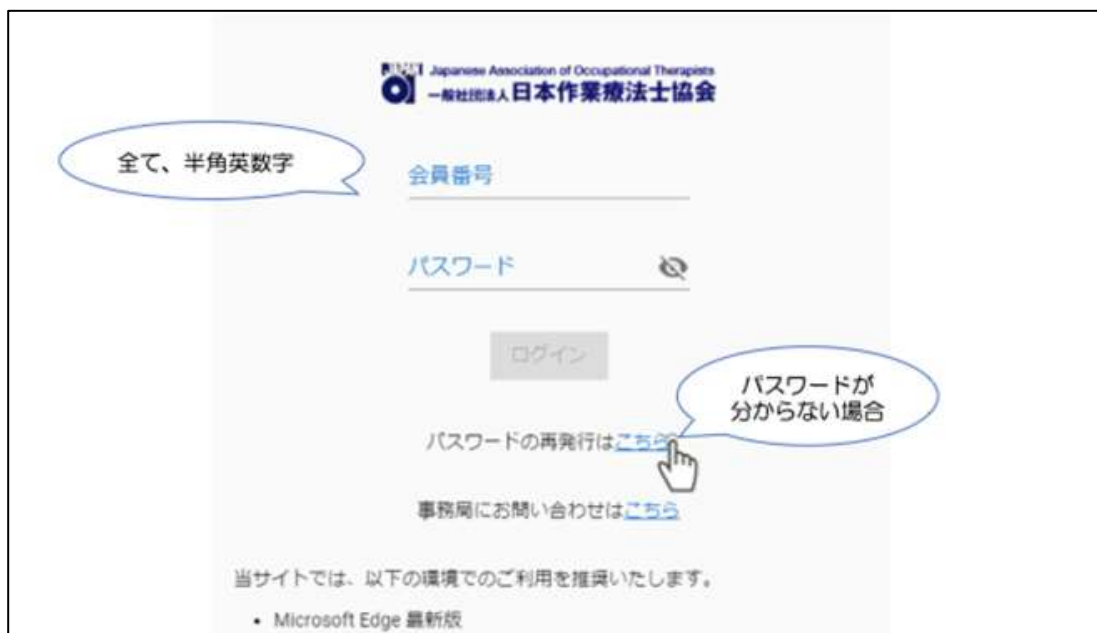
以上

<お問い合わせ先>

（一財）総合南東北病院
リハビリテーション科 高田善栄
TEL：024-934-5570
FAX：024-934-1961

E-mail：fukushima.ot.mtdlp@gmail.com

別紙【会員ポータルサイトログインの流れ】



このページをスクリーンショットして頂き、申込みフォームから画像の添付をお願い致します。
研修会参加時に登録した協会番号並びに氏名が一致しているかの確認をお願いします。